

## 学修の成果に係る評価

### ①総合成績評価

学修成果の評価については、全授業科目のシラバスに、「科目のねらい」「授業の概要」「達成目標・到達目標」「単位認定の要件」「単位の認定方法及び割合」「授業計画(項目、内容)」「時間外学修」「課題に対するフィードバック」を明示し、100点満点法により厳格に実施している。

前・後期毎の履修科目について、S(100点～90点)、A(89点～80点)、B(79点～70点)、C(69点～60点)、D(59点以下、不合格)の表記で通知するとともに、学修成果をGPAとして通知している。

GPAの算出は、以下の方法で実施している。本学では、学修成果がより実感できるように、科目のGPの計算には、学修成果の評価に使用した100点満点法による得点をそのまま利用している。

$$\text{GPA} = (\text{科目のGP} \times \text{科目の単位数}) \text{の合計} \div (\text{履修取消し科目} \cdot \text{履修放棄科目} \cdot \text{履修不履行科目} \cdot \text{他大学で取得した単位及び履修放棄科目を除いた総登録科目の単位数})$$

$$\text{科目のGP} = (\text{得点} - 55) \div 10$$

表：評価、得点、GPの関係

評価	得点	可否	GP	備考
S	100点～90点	合格	4.5～3.5	
A	89点～80点		3.4～2.5	
B	79点～70点		2.4～1.5	
C	69点～60点		1.4～0.5	
D	59点以下	不合格	0	
出席不足	—	—	0	
放棄	—	—	—	
履修不履行	—	—	—	
N	—	合格	—	他大学などで取得した単位

※出席不足、放棄、履修不履行については、「授業の履修について」を参照。

## ②学修到達度評価

学修到達度は、令和5年から学修成果可視化システム(アセスメンター)を導入し、学生の自己評価と教員の成績評価を基に、2つの観点、「各授業科目に対して」と「ディプロマポリシーに関わる資質・能力に対して」、について学期ごとに評価するようにしている。

そのため、学生の自己評価を、各授業科目における到達目標に対してとディプロマポリシーに関わる資質・能力に対して行わせている。

各授業科目に対しての到達度評価は、学生個々の自己評価と教員の成績評価との比較により行うようにしている。

ディプロマポリシーに関わる資質・能力に対しての到達度評価は、学生個々のディプロマポリシーに係る資質・能力に対する自己評価のレーダーチャートと各資質・能力に係る授業科目(本学では、全開講授業科目をディプロマポリシーに関わる資質・能力と対応させている)についての教員の成績評価のGPAを基にしたレーダーチャートとの比較、さらに同学年の平均GPAを基にしたレーダーチャートの比較等により行うようにしている。

学生は、随時、これらのレーダーチャートをポータルで確認することができるので、常時自分の学修成果(GPAに基づく学年における位置、ディプロマポリシーに関わる資質・能力に対する入学時からの到達度動向、等)を振り返ることができ、一方、教員(担任)も所属学生の学修成果の状況を確認できるので、学生と教員の両者が必要に応じ、「学修」について面談し、助言・支援・改善をできるようにしている。